

新学期を間近に控えて

4月4日（金）

新学期を間近に控えて、校庭を一回りしてきましたが、校庭の桜はまだまだ蕾です。毎年青垣中学校の桜はピンク色と青空が言い表せないくらい美しいコントラストで、気分も良くなります。春休みも今日を入れて残り3日となりました。春休みの明けの課題テストに向けての準備は万全でしょうか。本年度も私たち教職員は、全ての生徒が「わくわくと毎日の学校が楽しい!」、「早く明日が来ないかな!」と思う学校を目指して取り組みます。生徒が母校である青垣中学校に誇りを持ち、保護者、地域の皆様に愛される学校となるよう精一杯頑張りますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。さて、進学や進級などを期にスマホなどを買ってもらった生徒もいるのではないのでしょうか。学習時間が増えればいいのですが、スマホやゲームに費やす時間が増えたのでは意味がありません。そんなスマホの実態や使用上の留意点について、以下のような記事が掲載されていました。使い過ぎで心身の不調も青少年のスマホ所有率は小学生 27.0%、中学生 51.7%、高校生 94.8%。しかも、スマホを持ちながらインターネットを使っていないのは各 4.7%、4.4%、1.9%だけです。スマホで平日 2 時間以上ネットを利用しているのは、小学生でも 4 人に 1 人（24.8%）、中学生では 2 人に 1 人（52.1%）、高校生になると 4 人に 3 人近く（72.1%）を占めます。高校生は 8 人に 1 人（12.4%）が 5 時間以上使っているといいます。それだけ長時間になると、勉強などの時間がなくなるだけでなく、心身にも変調をきたします。情報セキュリティメーカーによると、高校生の 4 人に 1 人（男子 24.3%、女子 25.2%）が 0～3 時の深夜帯にケータイを使っています。その結果、「学校の成績が落ちてきたと注意された」だけでなく、「頭痛等の体調不良になる回数が増えた」生徒も少なくありません。とりわけ LINE は、使用率が子ども全体で 73.9%、高校生になると男子 94.2%、女子 96.1%と、広く普及するアプリケーション（アプリ）です。ネット上の友達と「会ってみたい」「会ったことがある」子どもは、小学生の女子で 55.6%（前回比 24.3 ポイント増）と半数を超えました。「安心ネットづくり促進協議会」（安心協）の研究発表会で、LINE が「現実と地続きになっている」という、他のインターネットコミュニケーションとは違う特徴がある」と指摘しました。もはやバーチャル（仮想的）な世界の話だと悠長に構えてはいられません。いじめをはじめとしたネットトラブルを避けるにも、リアル（現実的）な対人関係のコミュニケーションを解決する必要があるといいます。ネット利用のリスクに対する意識が、子どもはもとより保護者も低いという実態も浮かび上がっています。スマホを使用する以上、その望ましい使い方について、親子で話し合い、学び合うことは必須なのです。

また、生徒たちが安全に登下校してくれることが大きな願いですが、本校の現状としては二列並進・一旦停止など、残念ながら通学の状態は決して良いとは言えません。ひとつ間違えると大きな事故が起きる可能性があります。「自転車の一列走行」「ヘルメット、安全たすきの着用」など交通安全や交通

事故防止について、「自分の命は自分で守る」ことをベースに置いて、春休み中も気をつけて登下校してください。そして、ご家庭と地域の皆さんにも、子どもたちの安全を見守っていただきたいと思っています。

